

令和5年度 多摩市介護予防・日常生活支援総合事業 実績および令和6年度目標

資料2

		事業名	目的・概要	評価項目（含、事業カルテ指標）	令和4年度 実績	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	補足説明・影響因子・今後の取り組み内容等	令和6年度 目標																							
介護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業	一般 介 護 予 防 事 業	TAMAフレイル予 防プロジェクト （ＴＦＰＰ）	ブレフレイル（虚弱）段階の高齢者を早期に発見し、介護予防活動につなげることで、健康増進、介護予防を推進する。気づきから行動変容までを目的として、２段階の質問項目と４項目の測定により、身体の虚弱、低栄養、認知症、口腔機能、社会参加等のリスクを判定する。大規模実施においては、体験プロジェクトを行い、生活に取り入れられる活動を紹介。大学、介護予防リーダー等の市民と協働で取組める事業。	①全実施回数	27回	30回	16回	・大規模会場は屋外公園1ヶ所、長寿を祝う会の2回開催。中規模会場、小規模会場はそれぞれ7回開催し、合計16回開催した。 ・令和６年度は中規模会場以上では、秋以降から随時セカンドチェックまで実施していく予定。 TFPP参加者延べ数の年次推移 <table><tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>実施回数(回)</td><td>24</td><td>7</td><td>11</td><td>27</td><td>16</td></tr><tr><td>参加者延べ数(人)</td><td>526</td><td>99</td><td>253</td><td>706</td><td>408</td></tr></table>		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	実施回数(回)	24	7	11	27	16	参加者延べ数(人)	526	99	253	706	408	23回					
					令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度																						
				実施回数(回)	24	7	11		27	16																						
				参加者延べ数(人)	526	99	253		706	408																						
				小規模	19回	20回	7回		10回																							
		中規模	5回		6回	7回	10回																									
		大規模	3回		4回	2回	3回																									
		②年間延べ参加者数	706人	--	408人	--																										
		うんどう教室	運動を習慣化することにより、市民の介護予防を図ることを目的として、地域指導員が主体的に実施。乞田・貝取ふれあい広場公園、豊ヶ丘南公園に設置された運動遊具を活用したうんどう教室をそれぞれ月1回開催。 ・平成13年度より「豊ヶ丘南公園のうんどう教室」開始 ・平成24年度から「乞田・貝取ふれあい広場公園のうんどう教室」開始	①実施回数	24回	24回	24回	・乞田貝取ふれあい広場公園 参加者実数：20人 延べ参加者数：105人 (指導員参加者実数：7人) ・豊ヶ丘南公園 参加者実数：39人 延べ参加者数：220人 (指導員参加者実数：12人) ※いずれも指導員含まない	24回																							
				②参加者実数	78人	--	59人		--																							
	③延べ参加者数			514人	--	325人	--																									
	うんどう教室 地域指導員養成	うんどう教室の運営、指導にあたるうんどう教室地域指導員の養成を行う。	①新規養成者数	--	5人	4人	・7名の応募があったが実際に説明会を受けたのは6名。説明会に参加した6名のうち、4名が養成講座を受講し、豊ヶ丘南公園の地域指導員となったが1名は辞退。 令和６年度は乞田・貝取ふれあい広場公園の地域指導員を重点的に募集していく。	5人																								
			②累計養成者数（養成講座修了者数）	--	--	36人		--																								
	地域介護予防教室	介護予防リーダーが中核となって地域住民と開催する地域介護予防教室。「元気アップ体操」を共通のツールとしてを実施。市は運営費の補助とリハビリテーション専門職を派遣し支援を行う。	①教室数	17か所	18か所	18か所	・会場確保や天候等の影響による単発的な休止以外は、教室活動が継続的に行われた。 ・令和5年度は、諏訪2丁目で新規教室が1カ所立ち上がり18教室となった。また、落合の教室が満員状態の解消に向けて分室での活動を開始し、令和6年度には新規教室として独立した。 地域介護予防教室参加者延べ数の年次推移 <table><tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>開催回数(回)</td><td>594</td><td>337</td><td>484</td><td>747</td><td>845</td></tr><tr><td>参加者延べ数(人)</td><td>20,124</td><td>8,530</td><td>12,855</td><td>20,087</td><td>23,401</td></tr><tr><td>教室数(個所)</td><td>14</td><td>15</td><td>15</td><td>17</td><td>18</td></tr></table>		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	開催回数(回)	594	337	484	747	845	参加者延べ数(人)	20,124	8,530	12,855	20,087	23,401	教室数(個所)	14	15	15	17	18	20か所
				令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度																							
			開催回数(回)	594	337	484		747	845																							
			参加者延べ数(人)	20,124	8,530	12,855		20,087	23,401																							
	教室数(個所)	14	15	15	17	18																										
	②実施回数	747回	各教室 月４回	845回	各教室 月4回																											
	③参加者実数	1,070人	--	1,112	--																											
④延べ参加者数	20,087人	--	23,401	--																												
介護予防リーダー 養成	地域で介護予防活動を実施する介護予防リーダーを養成し、地域における介護予防事業を推進することを目的として実施。 介護予防と老年学、介護予防に必要な運動学などの全13回の講座を開催。	①新規養成者数	13人	20人	26人	・令和５年度も下半期に養成講座を実施。 ・令和４年度の受講生が少なく、教室を運営する人材確保が課題であった。令和５年度は特にリーダーを増やしたいエリアにカラーチラシを戸別ポスティングを実施したところ定員を大幅に超える申込があり、最終的に26名を養成できた。志望のきっかけは、「ポスティング」が最も多く、介護予防リーダーからの紹介が次に多かった。実際に介護予防リーダーとして担い手となる方は75%前後である。 介護予防リーダー養成者数の年次推移 <table><tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>終了者数(人)</td><td>24</td><td>16</td><td>20</td><td>13</td><td>26</td></tr><tr><td>累計養成者数(人)</td><td>136</td><td>152</td><td>172</td><td>185</td><td>211</td></tr></table>		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	終了者数(人)	24	16	20	13	26	累計養成者数(人)	136	152	172	185	211	20人							
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度																								
終了者数(人)	24	16	20	13	26																											
累計養成者数(人)	136	152	172	185	211																											
②累計養成者数	185人	205人	211人	231人																												
介護予防 ボランティア ポイント	高齢者がボランティア活動を通じて社会参加や地域貢献を行い、自身の健康維持・介護予防を図ることを目的とする。ボランティアを行った方にポイントが付与され、ポイントに応じた交付金を支給する。	①受入登録機関	53機関	55機関	53機関	・ボランティアポイント説明会：7回開催11人参加。出張ボランティア相談：11回開催 43人参加。 ・ボランティア活動の場は、新規登録1件、施設閉鎖1件で合計53機関と介護予防リーダー活動となり、前年度と変わらなかった。 ・受入機関は、令和6年度3月末時点で39機関(53機関中)。 ・ボランティア登録者は、新規登録者58名と増加し、557人と増加。 ・ボランティアポイントの活用申請件数は、令和4年度77件に対し、令和5年度104件と増加。	55機関																									
		②新規登録者数	46人	50人	58人		50人																									
		③登録者数	514人	550人	557人		600人																									
地域リハビリ テーション 活動支援事業	リハビリテーション専門職を住民運営の通いの場へ派遣することで、介護予防に関する知識の習得・筋力維持のための体操等を実施し、参加者の状態に応じた指導・助言を行う。 ※サロン及び自主グループへの支援は、元気塾のリハ職を派遣 ※近トレや認知機能低下に寄り添う通いの場プログラムを取り入れた地域介護予防教室への支援は、登録されている地域のリハ職を派遣	①派遣回数	68回	80回	62回	・令和５年度の登録リハビリテーション専門職は、52人（17機関） 地域リハビリテーション専門活動支援数の年次推移 <table><tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>実施回数(回)</td><td>82</td><td>13</td><td>28</td><td>73</td><td>62</td></tr><tr><td>参加者数(人)</td><td>793</td><td>75</td><td>283</td><td>752</td><td>598</td></tr></table> ※介護予防・フレイル予防推進員の派遣を含む		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	実施回数(回)	82	13	28	73	62	参加者数(人)	793	75	283	752	598	100回							
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度																								
実施回数(回)	82	13	28	73	62																											
参加者数(人)	793	75	283	752	598																											
②延べ参加者数	752人	--	598人	--																												
近所de元気アップ トレーニング （近トレ）	「元気アップ体操」を共通のツールとして、住民運営の通いの場で人と人とのつながりを通じて、地域の支え合い活動に発展していくような地域づくりを推進する。 地域への広報や立ち上げ・継続支援は第2層生活支援コーディネーターとともに実施する。 ※生活支援体制整備事業として実施し地域での拡充を目指す。	①箇所数	40箇所	45箇所	42箇所	・42団体のうちサロン登録しており、かつ報告書提出済みの団体の数のみ計上。 ・新規団体の立ち上げ6件、近トレ団体の少ない地域での中規模プレゼンを3回実施。 ・社会福祉協議会ふれあいいきいきサロンは3月末現在110ヶ所。	45箇所																									
		②実施回数	1,849回	--	1474回		--																									
		③延べ参加者数	14,388人	--	13,750人		--																									
地域活動デビュー 講座	令和５年度より新たに実施。多摩市の高齢者や介護保険の現状について知る機会を作り、元気アップ体操の紹介や体験を通じて介護予防事業の紹介等を行イベントを実施することで、介護予防やフレイル予防に対する普及啓発と、介護予防事業の周知と担い手の創出を目指す。	①参加人数	--	--	25人	・前期高齢者や若年層にも情報が届くよう、公式X・公式LINEも活用した。 ・地域活動につながった人数のうち、4名は介護予防リーダー養成講座、1名は近所de元気アップトレーニング新規団体立ち上げにつながった。 ・令和5年度退所者は7人。退所理由：持病の悪化、転倒による骨折、認知症による通所困難等 ・元気塾卒業後、地域の通いの場につながった方の割合は83%。 ・訪問同行支援件数は、令和4年度55件、令和5年度27件。 ・体験会を各元気塾2回開催し、延べ45名参加、うち11名が元気塾利用につながった。 ・上記に加えて福祉フェスタで元気塾の体験会を行った。大人52名、子ども19名の参加があった。 ・令和4年度元気塾を利用した修了者106名に対して、基本チェックリストとアンケートの送付による終了者フォローを実施した。80名の回答が得られ、46名（58%）の方が継続して通いの場に通っていた。また、75%の方が週に2回以上の外出継続していた。	30人																									
		②地域につながった人数	--	--	13人		15人																									
介護 予 防 ・ 生 活 支 援 サ ー ビ ス 事 業	通所型短期集中 予防サービス （元気塾）	①利用者実数	121人	150人	110人	・令和5年度退所者は7人。退所理由：持病の悪化、転倒による骨折、認知症による通所困難等 ・元気塾卒業後、地域の通いの場につながった方の割合は83%。 ・訪問同行支援件数は、令和4年度55件、令和5年度27件。 ・体験会を各元気塾2回開催し、延べ45名参加、うち11名が元気塾利用につながった。 ・上記に加えて福祉フェスタで元気塾の体験会を行った。大人52名、子ども19名の参加があった。 ・令和4年度元気塾を利用した修了者106名に対して、基本チェックリストとアンケートの送付による終了者フォローを実施した。80名の回答が得られ、46名（58%）の方が継続して通いの場に通っていた。また、75%の方が週に2回以上の外出継続していた。	150人																									
		②利用者のべ人数	3,009人	--	2,982人		8割																									
		③個別の目標達成割合	75.0%	8割	83.0%		7割																									
		④地域活動など維持・向上のための活動への提案・つなぎ	74.0%	7割	83.0%		8割																									
		⑤5m最大歩行速度レベルの維持・向上	74.0%	8割	79.0%		8割																									
		⑥主観的健康観の維持・改善割合	67.0%	8割	70.0%		8割																									
		⑦基本チェックリスト25項目合計の維持・改善	86.0%	8割	85.0%		8割																									
	住民主体による 訪問型サービス	多摩市社会福祉協議会、NPO法人等に登録している市の研修を修了した生活サポーターが、日常生活に必要な家事等を利用者とともに行うことで、その利用者が可能な限り居宅において生活機能を維持または向上することを目指す。 対象は、基本チェックリストによる事業対象者と要支援１・２の認定を受けた方。 週1回 60分／回以内 または、同行支援は90分／回以内 内容は、掃除、洗濯、食事の準備や調理、買い物同行支援等の家事	①利用件数	2,143件	3,082件	1,971件	・養成講座2回開催、延べ25人参加。（うち2名は複数回目の受講）生活サポーターのいない地域での担い手発掘のため、養成講座チラシのポスティングを行った。 ・フォローアップ研修会2回開催、延べ72人参加。介護・フレイル予防の一環として、高齢者に必要な栄養と調味料の豆知識及び骨粗鬆症による骨折を防ぐをテーマに実施。 ・令和６年度からサービス内容変更。週１～2回 60分程度／回以内 または、同行支援は週1回 61～120分程度／回以内	2,099件																								
			②利用者実数	72人	75	70人		91人																								
			③利用者延べ人数	延べ624人	延べ810人	延べ607人		延べ633人																								
介護予防ケアマネジメント		介護予防・生活支援サービス事業の実施状況を把握する。	介護予防ケアマネジメント実施件数	5,546件	--	6,027件	例年程度の件数である。報酬改定に伴い介護予防ケアマネジメントのマニュアルの内容を見直し、令和６年４月改訂。	--																								